

# シラバスの見方

※この PDF ファイルには目次(しおり)がついています。スマートフォンを使用の方は画面上の設定等から目次を呼び出してご利用ください。

授業科目名	①		
実務経験講師	②	実務経験	③
開講年度	④ 年度	学 期	⑥
年 次	⑤ 年次	授業回数	⑦ 回
単 位 数	単位	単位時間数	時間
授業科目の概要	⑧		
授業科目の到達目標	⑨		

## 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7		⑩	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用テキスト	⑪
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	
成績評価の方法	
その他 受講生への要望等	

### ① 授業科目名

### ② 実務経験講師

講師に担当する科目に関する実務経験がある場合、「○」がついています。

実務経験とは・・・資格をもっているだけではなく、実際の施設等で資格を活かして働いた経験があるということ。

※一部を除き、違う学校で同様の科目を教えている等の教員経験は実務経験に含まれません。

### ③実務経験

担当講師の実務経験内容を簡単に記してあります。

### ④開講年度

### ⑤年次

授業を受ける学年です。

### ⑥学期

前期・・・4月～9月

後期・・・10月～3月

通年（全期）・・・1年間を通して、もしくは前期～後期にかかるどこかの期間で

### ⑦授業回数

### ⑧授業科目の概要

授業内容のたまかな説明です。

### ⑨授業科目の到達目標

授業が修了した時に到達すべき学修の目標です。

### ⑩授業スケジュールと内容

内容・・・1回の授業がどのような内容で構成されているか

授業方法・・・講義、演習、実習など

課題/小テスト・・・その授業の回に課題や小テストが課されている場合は記載されます。予習の内容が書かれている場合もあります。

### ⑪使用テキスト

授業で使用するテキストの情報です。プリント等オリジナル教材を使用する場合もあります。

授業科目名	社会の理解		
実務経験講師	○	実務経験	社会福祉士
開講年度	R5 年度	学 期	通年
年 次	2 年	授業回数	30コマ
単 位 数	4単位	単位時間数	60時間
授業科目の概要	社会福祉の歴史や思想を理解し、社会保障制度等、法と制度について学びます。 変動する社会生活と地域社会の課題に関する専門的な知識を修得し、それらを個人、社会、組織などの視点から行政や組織の仕組みを理解していきます。		
授業科目の到達目標	① 現代社会における社会福祉の意義や概念について学ぶ。 ② 必要性や改正のポイントについて理解を深める。 ③ 自己生活の中で関わりのある法や制度についての基礎も学び、利用者の生活について考察する能力を身につける。		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○ 生活とは 生活を幅広くとらえる Keyword:総合的視点・QOL	座学形式 独自プリント	自己生活について、生活行動用紙を記入する。
2	○ 生活の基本機能 「家族」と「家庭」 Keyword:家庭機能・多様性	座学形式 独自プリント	
3	○ 生活と働き方 ライフスタイルの変化 Keyword:生涯学習社会・少子高齢化	座学形式 独自プリント	記入した生活行動用紙を基に、かかわりをまとめる。
4	○ 家族機能と役割 家族の定義・家族観と多様化 Keyword:国民生活基礎調査	グループ演習 家族の役割を班で報告	
5	○ 社会・組織の機能① 社会・組織の概念 Keyword:グループ支援・エンパワメント	座学形式 独自プリント	
6	○ 社会・組織の機能② 地域社会の生活と変化 Keyword:都市化・過疎化	座学形式 独自プリント	自分の住む地域の行政行事を調べて報告する。
7	○ 地域福祉の発展 地域福祉の歴史的展開 Keyword:慈善組織・地域組織化活動	座学形式 独自プリント	

8	○ 地域共生と包括ケア 社会的背景と理念 Keyword:社会的排除・福祉ミックス	座学形式 独自プリント	
9	○ 高齢者福祉① 法の施策、視点と動向 Keyword:介護保険法・老人福祉法	グループ演習	配布された議題をもとに 班で報告・まとめを行う。
10	○ 高齢者福祉② 介護問題と福祉サービス Keyword:介護離職・前期、後期高齢者	グループ演習	前回の続きを行う。
11	○ 高齢者保健福祉体系① 高齢社会対策基本法 Keyword:老人福祉法・後期高齢者医療制度	座学形式 独自プリント	
12	○ 高齢者保健福祉体系② 介護保険制度 Keyword:個人の尊厳自立	座学形式 独自プリント	
13	○ 高齢者保健福祉体系③ 制度の財源 Keyword:第一号・第二号被保険者	座学形式 独自プリント	小テスト実施。
14	○ 高齢者保健福祉体系④ 手続きと認定 Keyword:ケアプラン・認定調査	座学形式 独自プリント	小テストの直し及び振り返り。
15	前期定期試験	配布プリント教科書の 項目から出題	
16	○ 介護保険サービス① 基本チェックリスト Keyword:居宅サービス・予防サービス	座学形式 独自プリント	
17	○ 介護保険サービス② 利用者の権利、サービス費用 Keyword:地域支援事業	座学形式 独自プリント	
18	○ 介護保健サービス③ 地域包括ケアシステム Keyword:地域包括・団体連合会	座学形式 独自プリント	
19	○ 介護支援専門員 ケアマネジメント・ケアプラン Keyword:資格取得・計画作成	グループ演習	介護福祉士について 事前課題を提出。
20	○ 法の制度改正 介護保険制度の動向 Keyword:予防給付・介護保険持続	座学形式 独自プリント	

21	○ 障害者自立支援制度 国・都道府県・市町村の基本的役割 Keyword:ICF・障害者権利条約	座学形式 独自プリント	
22	○ 障害者保健福祉 障害者が利用する法律 Keyword:権利擁護・社会的障壁	座学形式 独自プリント	
23	○ 障害者総合支援制度 成立と流れ、改正と役割 Keyword:応益負担・各給付	座学形式 独自プリント	
24	○ 財源と利用者負担 自立支援級の財源 Keyword:世帯収入・訓練給付	座学形式 独自プリント	
25	○ 権利擁護 高齢者・障害者虐待 Keyword:虐待防止法・成年後見制度	座学形式 独自プリント	
26	○ 消費者保護の制度と施策 個人の権利 Keyword:特定商取引法・消費生活センター	座学形式 独自プリント	
27	○ 医療にかかわる法と制度 高齢者・障害者の医療確保 Keyword:医療行政計画・感染症	座学形式 独自プリント	
28	○ 生活保護制度① 生活困窮者自立支援法 Keyword:金銭給付・現物給付	座学形式 独自プリント	小テスト実施。
29	○ 生活保護制度② 地域生活支援制度・施策 Keyword:就労支援・雇用促進	座学形式 独自プリント	小テストの直し及び振り返り。
30	後期定期試験	配布プリント教科書の 項目から出題	

使用テキスト	最新介護福祉士養成講座 社会の理解 第2版(中央法規)
参考書・資料 等	独自プリント 人間の理解(中央法規)
この授業科目の前提となる主な科目	介護の基本 人間の尊厳と自立
この授業科目から発展する主な科目	介護総合演習2 介護実習2

成績評価の方法	定期試験、小テスト。 課題の提出 演習への参加状況
その他 受講生への要望等	事前に出された課題は、しっかりと調べてきて下さい。 授業中の演習では、自分の意見を述べ、他学生の意見をまとめておいて下さい。 小テストや、教科書で指示された部分を見直し、疑問箇所は確認しておくようにして下さい。

授業科目名	社会保障		
実務経験講師	○	実務経験	社会福祉士
開講年度	R5 年度	学 期	通年
年 次	2 年次	授業回数	30 回
単 位 数	4 単位	単位時間数	60 時間
授業科目の概要	<p>社会保障と呼ばれる制度には、年金・医療・社会福祉など様々なものがあります。本講義では、社会保険を中心に社会保障制度を体系的に学び、それらが私たちの暮らしにとっていかに重要な役割を果たしているのかを学びます。</p> <p>年金制度や医療保険制度等の制度は、仕組みが少々ややこしいので、受験参考書を使って大事なところ、キーワードを確認して、仕組みを理解した後、国家試験の過去問等を使った小テストで確認します。</p>		
授業科目の到達目標	<p>① 現代社会における社会保障制度の課題について理解する。</p> <p>② 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。</p> <p>③ 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。</p> <p>④ 社会保障制度の体系と概要について理解する。</p> <p>⑤ 年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。</p> <p>⑥ 諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</p>		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	社会保障制度の概要 (社会的セーフティネット、所得再分配、リスク分散、社会保険、社会扶助、民間保険) P58～P59	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答でチェック
2	社会福祉の法体系、サービス利用方式、社会保障給付費 (福祉六法、社会福祉法、措置制度、利用契約制度、応益負担、応能負担、社会保障給付費、国民負担率) P60～P63	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答でチェック
3	社会福祉の歴史 (救貧、防貧、高齢化率、少子高齢化、普遍主義) P64～P65	座学形式	重要年代を暗記する /QB、国試ナビ一問一答でチェック
4	医療保険 (被用者保険、国民健康保険、後期高齢者医療制度) P67～P69	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答でチェック
5	医療保険、国民医療費、 (療養の給付、入院時生活療養費、高額療養費、高額介護合算療養費、傷病の治療、医療提供施設) P68～P71	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答でチェック
6	年金保険 (国民年金、基礎年金、厚生年金、保険者、被保険者、保険料) P72～P73	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答でチェック

7	年金保険 (老齢年金、障害年金、遺族年金、国民年金基金、企業年金) P72～P73	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
8	労働関連 (雇用保険、労災保険、育児・介護休業制度) P74～P77	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
9	介護保険 (要支援・要介護者の状況、保険者、被保険者、財源) P78～P81	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
10	介護保険 (第1号被保険者、第2号被保険者、要介護認定、特定疾病) P82～P83	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
11	介護保険 (介護給付、予防給付、地域密着型サービス) P84～P89	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
12	介護保険 (共生型サービス、高額介護サービス費、高額医療合算介護サ ービス費、地域支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業、 地域包括支援センター、地域ケア会議、成年後見制度利用支 援事業) P90～P93	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
13	社会福祉法関連 (社会福祉事業、社会福祉法人、地域福祉、共同募金) P96～P97	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
14	社会福祉法関連 (社会福祉法人、社会福祉協議会、NPO 法人) P96～P97	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
15	前期定期試験	五肢択一選択 問題	
16	生活保護 (生活保護の4原理・4原則、8扶助) P100	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
17	生活困窮者自立支援法、生活福祉資金、社会手当 (自立相談支援事業、住居確保給付金、児童手当、児童扶養手 当、特別児童扶養手当) P101	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
18	高齢者福祉 (老人福祉施設、老人居宅生活支援事業、有料老人ホーム、サ ービス付き高齢者住宅、生活支援ハウス) P102～P104	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
19	障害者福祉 (障害者基本法、障害者の定義、障害者雇用促進法、バリアフ リー法、障害者差別解消法) P105～P110	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
20	障害者総合支援法 (保険者、実施主体、応益負担、応能負担) P111～P113	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック

21	障害者総合支援法 (障害支援区分、市町村審査会、介護給付、訓練等給付) P114～P115	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
22	障害者総合支援法 (地域生活支援事業、地域活動支援センター、成年後見利用支援事業、障害児通所支援、障害児入所支援) P116～P117	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
23	相談支援機関 (一般相談支援事業者、特定相談支援事業者、障害児相談支援事業者、基幹相談支援センター、地域自立支援協議会) P118～P119	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
24	保健制度 (メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、健康増進法、母子保健法) P120～P124	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
25	復習・年金保険 P72～P73	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
26	復習・医療保険 P67～P71	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
27	復習・障害者総合支援法 P111～P119	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
28	復習・介護保険 P78～P93	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
29	復習・社会福祉の歴史 P64～P65	座学形式	/QB、国試ナビ一問一答で チェック
30	後期定期試験	五肢択一選択 問題	

使用テキスト	介護福祉士国試ナビ 2024(中央法規) QB 介護福祉士国家試験問題解説 2024(メディックメディア)
参考書・資料 等	独自プリント
この授業科目の前提となる主な科目	「人間の尊厳と自立」「社会の理解」「介護の基本」「障害の理解」
この授業科目から発展する主な科目	「人間の尊厳と自立」「社会の理解」「介護の基本」「障害の理解」
成績評価の方法	定期試験(50点)、レポート(20点)、出席(20点)、態度(10点)
その他 受講生への要望等	理解できたこと、理解できなかったこと、記憶しやすい事項・年号、記憶しにくい事項・年号をはっきり区別できるようにしてください。 わからないこと、覚えにくいことは質問して下さい。



授業科目名	介護の基本 2		
実務経験講師	○	実務経験	精神保健福祉士、社会福祉士
開講年度	R5 年度	学 期	通年
年 次	2 年	授業回数	45 コマ
単 位 数	6 単位	単位時間数	90 時間
授業科目の概要	<p>「介護の基本 2」では、1 年次の知識を踏まえ、福祉サービスの具体的利用方法やその制度実践するための施策、利用者の自立支援の具体的方法や多職種との連携、およびリスクマネジメントなどを学習します。また、後期終盤の授業では、これまでに習得した知識を踏まえ、国家試験に結びつく知識の統合を行います。</p>		
授業科目の到達目標	<p>①介護保険法の概要や障害者総合支援法の概要および利用方法を学習し、介護保険サービスが必要な利用者および家族に説明することができる。</p> <p>②利用者の自立に向けたリハビリテーションの方法や関係職種を学習し、それらの職種と連携する力を身につけることができる。</p> <p>③介護を実践する上で生じるリスクについて学習し、その予防方法、事故発生時の対応再発予防策について認識することができる。</p> <p>④介護者自身の健康管理について学習し、自身の心身の健康管理を行うことができる。</p>		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○1 年次知識の復習 1 年後期試験答案用紙の返却・解説 解説後はグループ学習	演習	
2	○障害者総合支援法① 障害者総合支援法の全体像(Ⅱ/P54-55) Keyword:対象者、費用負担、自立支援給付	講義	
3	○障害者総合支援法② 障害者総合支援法利用のしくみ(Ⅱ/P55-57) Keyword:障害支援区分、サービス等利用計画	講義	
4	○障害者総合支援法③ 介護給付の具体的内容(Ⅱ/P55-57) Keyword:障害支援区分、サービス等利用計画	講義	
5	○障害者総合支援法④ 訓練等給付の具体的内容(Ⅱ/P55-57) Keyword:障害支援区分、サービス等利用計画	講義	
6	○障害者総合支援法⑤ 障害者総合支援法に関する小テスト	演習	小テスト実施
7	○障害者総合支援法⑥ 小テストの返却・解説	講義 演習	

	解説後はグループ学習		
8 9	○多職種連携① 多職種連携・協働の必要性(Ⅱ/P146-157) IPE 授業オリエンテーション Keyword:医療と介護の連携	講義	多職種連携について理解する
10 11	○多職種連携② 多職種連携に関する事例検討(IPE 授業)	演習	他学科学生とのグループワークに参加する
12	○多職種連携③ 保健・医療・福祉職の役割と機能(Ⅱ/P173-189) Keyword:各職種の専門性	講義	各専門職の役割について理解する
13	○多職種連携④ 多職種連携に関する小テスト	演習	小テスト実施
14	○前期授業まとめ 小テストの返却・解説 解説後はグループ学習	講義 演習	
15	○前期定期試験	試験	
16	○前期知識の復習 前期定期試験答案用紙返却 返却後は振り返り学習	演習	
17	○精神疾患別利用者の理解① 気分障害の知識と利用者理解(独自プリント) Keyword:うつ病・双極性障害	講義	
18	○精神疾患別利用者の理解② 統合失調症の知識と利用者理解(独自プリント) Keyword:陽性症状、陰性症状 1	講義	
19	○精神疾患別利用者の理解③ 不安障害の知識と利用者理解(独自プリント) Keyword:パニック症、強迫症、ストレス関連障害	講義	
20	○精神疾患別利用者の理解④ 身体症状症及び関連症候群(独自プリント) Keyword:身体症状症、病気不安症、心身症	講義	
21	○精神疾患別利用者の理解⑤ 解離症の知識と利用者理解(独自プリント) Keyword:解離性同一症、解離性健忘	講義	
22	○精神疾患別利用者の理解⑥ 摂食障害、依存・嗜癖の知識と利用者理解 Keyword:神経性やせ症、アルコール依存症	講義	

23	○精神疾患別利用者の理解⑦ パーソナリティ障害の知識と利用者理解 Keyword:A 群、B 群、C 群	講義	
24	○精神疾患別利用者の理解⑧ 発達障害の知識と利用者理解 Keyword:ASD、ADHD、LD	講義	
25	○精神疾患別利用者の理解⑨ 認知症の知識と利用者理解 Keyword:アルツハイマー、レビー小体、ピック病	講義	
26	○精神疾患者の治療 精神科病院の入院形態 Keyword:任意入院、医療保護入院、応急入院等	講義	
27	○精神疾患者の支援 精神疾患者への支援 Keyword:自助グループ	講義	
28	○精神疾患に関するまとめ① 精神疾患に関する小テスト	演習	小テスト実施
29	○精神疾患に関するまとめ② 小テストの返却・解説 解説後はグループ学習	講義 演習	
30 31	○多職種連携③ 多職種連携・協働に求められる能力(Ⅱ/P158-172) IPE 授業オリエンテーション Keyword:チームの中での介護の視点	講義	多職種連携について理解する
32 33	○多職種連携④ 多職種連携に関する事例検討(IPE 授業)	演習	他学科学生とのグループワークに参加する
34	○労働者を守る制度① 労働基準法、労働安全衛生法の概要(Ⅱ/P249-251) Keyword:労働条件、産業医	講義	労働関連の法律について理解する
35	○労働者を守る制度② 育児・介護休業制度、育児・介護短期休暇制度 Keyword:対象家族、休業日数、休業、休暇	講義	育児・介護関連の休業制度について理解する
36	○知識の統合① 介護保険と障害者総合支援法の相違点(国試ナビ) Keyword:認定、計画作成、相談機関	講義 演習	国家試験過去問を解き、正答を調べる
37	○知識の統合② 各社会保険における被保険者の定義(国試ナビ)	講義 演習	国家試験過去問を解き、正答を調べる

	Keyword:被保険者の要件、支給要件		
38	○知識の統合③ 社会福祉の理念(国試ナビ) Keyword:ノーマライゼーション、アドボカシー	講義 演習	国家試験過去問を解き、正答を調べる
39	○知識の統合④ 利用者の権利を守る制度(国試ナビ) Keyword:成年後見制度、日常生活自立支援事業	講義 演習	国家試験過去問を解き、正答を調べる
40	○知識の統合⑤ 身体障害別特性と介護(国試ナビ) Keyword:肢体不自由、視覚・聴覚障害、内部障害	講義 演習	国家試験過去問を解き、正答を調べる
41	○知識の統合① 知的・精神障害の特性と介護(国試ナビ) Keyword:脳性麻痺、発達障害	講義 演習	国家試験過去問を解き、正答を調べる
42	○後期授業内容の復習 小テストの実施	演習	小テスト実施
43	○後期授業まとめ 小テストの返却・解説 解説後はグループ学習	講義 演習	
44	○後期定期試験	試験	
45			

使用テキスト	最新介護福祉士養成講座 介護基本 I・II 第2版(中央法規)
参考書・資料 等	必要に応じプリント配布
この授業科目の前提となる主な科目	人間の尊厳と自立、介護の基本1
この授業科目から発展する主な科目	社会の理解、社会保障 生活支援技術1、生活支援技術2
成績評価の方法	定期試験(50点)出席(20点)、小テスト(20点)、態度(10点)
その他 受講生への要望等	介護福祉士として介護を行う上での必要な知識を学びます。就職してからも役に立つ内容ですので、繰り返し学習して知識を習得して下さい。

授業科目名	生活支援技術 2		
実務経験講師	○	実務経験	介護福祉士
開講年度	R5 年度	学 期	通年
年 次	2 年	授業回数	90 コマ
単 位 数	12 単位	単位時間数	180 時間
授業科目の概要	<p>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を学習します。</p> <p>また、生活支援技術1で学んだ基本知識や技術を用いて、より介護度の高い利用者への介護方法や、障害別の特性を学習します。</p> <p>さらに、在宅生活を継続させるための家事支援や家庭生活に関する知識等を学習します。</p>		
授業科目の到達目標	<p>①利用者の状況に合わせ、利用者にとって安全・安楽な介護を実践することができる。 (基本的介護技術の実践)</p> <p>②障害別の特性を理解し、その特性に合わせた介護を実践することができる。 (肢体不自由、視覚障害などの知識と介護の実践)</p> <p>③在宅生活継続のための生活支援の知識と具体的支援方法を習得することができる。 (家事などの知識や実践)</p> <p>④利用者の人生の最終段階における支援方法を習得することができる。 (終末期の介護の知識や利用者理解)</p>		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○1 年次知識の復習① 1 年後期筆記試験改題の解答	演習	1 年後期筆記試験改題を解く
2	○1 年次知識の復習② 1 年後期筆記試験改題の解説	講義	解答の根拠を習得する
3	○1 年次知識の復習③ 1 年基礎模擬試験生活支援分野の説明①	講義	1 年基礎模擬試験生活支援分野の見直し
4	○1 年次知識の復習④ 1 年基礎模擬試験生活支援分野の説明②	講義	1 年基礎模擬試験生活支援分野の見直し
5	○1 年次知識の復習④ 1 年基礎模擬試験生活支援分野に関連した他科目の説明	講義	1 年基礎模擬試験生活支援関連分野の見直し
6 7	○一人でのシーツ交換 ベッドメイキング(Ⅱ:P227-241) Keyword:中心線、三角コーナー	実技	一人で行うベッドメイキングの習得
8	○排泄の知識 尿失禁と便失禁の知識(Ⅱ/P194-200) Keyword:尿失禁、便失禁、便の形状	講義	尿失禁と便失禁の種類を覚える

9	○視覚障害の知識 視覚障害の種類と特性(Ⅲ/P31-36) Keyword:盲、弱視	講義	視覚障害の種類と特性を覚える
10	○聴覚・言語障害に応じた介護 難聴、構音障害の知識と対応(Ⅲ/P46-62) Keyword:感音性難聴、麻痺性構音障害	講義	難聴、構音障害の知識と対応を覚える
11 12	○視覚障害者に応じた介護 視覚障害者への歩行介助・食事介助の方法、 視覚障害者体験(Ⅲ/P36-43) Keyword:ガイドヘルプ、クロックポジション	実技	視覚障害者への介護方法を覚える
13	○制限食のある人の食事の知識 疾患別制限食の内容と留意点 Keyword:糖尿病、腎臓病、心臓病等の食事制限	講義	食事制限の内容を覚える
14 15	○ボディメカニクスを利用した介護技術復習 ベッド上の水平移動、車いす移乗等 (Ⅰ:P89~90, P136-140) Keyword:ボディメカニクス	実技	ボディメカニクスの動きの復習
16 17	○ボディメカニクスを利用した介護技術復習② ベッド上の水平移動、車いす移乗等 (Ⅰ:P89~90, P136-140) Keyword:ボディメカニクス	実技	ボディメカニクスの動きの復習
18	○水分の知識 水分の体内での役割と水分摂取の必要性 Keyword:水分の出入り、水分摂取量	講義	水分の知識を覚える
19 20	○起床場面ロールプレイ 実習場面を想定した事例を提示し、介護実践を行う	実技	起床場面を想定した様々な介護を行う
21	○内部障害① 心臓機能障害の知識と対応(Ⅲ/P75-90) Keyword:狭心症、心筋梗塞、ペースメーカー	講義	心臓機能障害の知識と対応を覚える
22 23	○排泄介助ロールプレイ 実習場面を想定した事例を提示し、介護実践を行う	実技	排泄場面を想定した様々な介護を行う
24 25	○就寝場面ロールプレイ 実習場面を想定した事例を提示し、介護実践を行う	実技	就寝場面を想定した様々な介護を行う
26	○入浴・清拭の知識 浴室の環境・清拭方法(Ⅱ/P104-107,124-134) Keyword:個浴、特浴、室温、湯温	講義	入浴・清拭に関する知識を覚える
27 28	○実習場面ロールプレイ総合① 実習場面を想定した事例を提示し、介護実践を行う	実技	

29	○実習場面ロールプレイ総合②	実技	
30	実習場面を想定した事例を提示し、介護実践を行う		
31	○実習に関する生活支援技術振り返り 生活支援技術に関する実習の振り返りをレポートにまとめる	演習	
32	○肢体不自由者の介護① 原因疾患と麻痺の種類(Ⅲ/P12-30) Keyword:脳性麻痺、脳血管疾患	講義	麻痺の原因疾患と種類を覚える
33	○内部障害② 呼吸器機能障害の知識と対応(Ⅲ/P91-107) Keyword:喘息、在宅酸素、呼吸訓練	講義	呼吸器機能障害の知識と対応を覚える
34	○肢体不自由者の介護② 脊髄損傷の部位別症状(Ⅲ/P12-30) Keyword:頸髄損傷、胸髄損傷、腰髄損傷	講義	脊髄損傷の部位別症状を覚える
35 36	○実技事例演習① 前期授業で習得した介護技術について、グループごとに実技を行う	実技	事例内容と介護の知識・技術を結びつける
37 38	○実技事例演習② 前期授業で習得した介護技術について、グループごとに実技を行う	実技	事例内容と介護の知識・技術を結びつける
39	○前期知識のまとめ① 小テスト実施	演習	
40	○前期知識のまとめ② 小テスト解説	講義	
41 42	○前期実技まとめ 実技試験を想定した手順の見直し・確認を行う	実技	
43	○前期筆記試験	試験	
44 45	○前期実技試験	試験	
46	○2年前期知識の復習 2年前期筆記試験答案用紙の返却 返却後はグループ学習	演習	2年前期筆記試験の見直し
47 48	○2年前期実技の復習 2年前期実技試験の模範提	実技	2年前期実技試験の見直し
49	○介護保険制度における福祉用具の利用① 福祉用具貸与と特定福祉用具販売 Keyword:福祉用具貸与、特定福祉用具販売	講義	福祉用具利用の知識を覚える
50 51	○実習場面ロールプレイ総合① 実習場面を想定した事例を提示し、介護実践を行う	実技	

52	○実習場面ロールプレイ総合②	実技	
53	実習場面を想定した事例を提示し、介護実践を行う		
54	○実習に関する生活支援技術振り返り① 生活支援技術に関する実習の振り返り	演習	
55	○実習に関する生活支援技術振り返り② 生活支援技術に関する実習の振り返りをレポートにまとめる	演習	
56	○公的制度における福祉用具の利用② 障害者総合支援法における利用(Ⅰ/P205-207) Keyword:補装具、日常生活用具	講義	補装具と日常生活用具の制度的違いを覚える
57	○内部障害③ 腎臓機能障害の知識と対応(Ⅲ/P108-120) Keyword:腎不全、尿毒症、透析、食事制限	講義	腎臓機能障害の知識と対応を覚える
58	○介護ロボットの開発・活用 介護ロボットの種類・分類(Ⅰ/P197-200) Keyword:歩行アシスト、装着型アシスト	講義	介護ロボットの種類や分類を覚える
59	○内部障害④ 膀胱・直腸障害の知識と対応(Ⅲ/P121-133) Keyword:膀胱・直腸の疾患、ストーマ	講義	膀胱・直腸障害の知識と対応を覚える
60	○家事援助の知識① 介護保険における訪問介護(Ⅰ/P216-222) Keyword:生活援助、介護保険適用と適用外	講義	介護保険における訪問介護の範囲を覚える
61	○家事援助の知識② 在宅における食事援助(Ⅰ/P223-228) Keyword:季節食、配膳、消費期限と賞味期限	講義	食事や調理に関する知識を覚える
62	○家事援助の知識③ 洗濯、掃除の援助・買物・家計(Ⅰ/P228-235) Keyword:マーク、クーリングオフ、家計収支	講義	洗濯・掃除・買物・家計に関する知識を覚える
63	○内部障害⑤ 小腸機能障害の知識と対応(Ⅲ/P134-145) Keyword:小腸の疾患、栄養療法	講義	小腸機能障害の知識と対応を覚える
64	○内部障害⑥ 免疫機能障害の知識と対応(Ⅲ/P146-157) Keyword:HIV、エイズ、標準予防策	講義	免疫機能障害の知識と対応を覚える
65	○知的障害 知的障害の知識と対応(Ⅲ/P188-195) Keyword:ダウン症、IQ	講義	知的障害の知識と対応を覚える
66	○精神障害 精神障害の知識と対応(Ⅲ/P196-216)	講義	精神障害の知識と対応を覚える



	Keyword:統合失調症、気分障害		
67	○内部障害⑦ 肝臓機能障害の知識と対応(Ⅲ/P158-169) Keyword:肝炎、肝硬変	講義	肝臓機能障害の知識と対応を覚える
68	○内部障害まとめ 内部障害①～⑦の小テスト	演習	小テスト実施
69	○小テスト返却・解説 解説後、グループ学習	演習	
70	○重症心身障害に応じた介護 重症心身障害の知識と対応(Ⅲ/P170-179) Keyword:障害の重複、環境整備	講義	重症心身障害の知識と対応を覚える
71	○高次脳機能障害 高次脳機能障害の知識と対応(Ⅲ/P217-228) Keyword:記憶障害、注意障害、遂行機能障害	講義	高次脳機能障害の知識と対応を覚える
72	○発達障害 高次脳機能障害の知識と対応(Ⅲ/P229-245) Keyword:自閉症スペクトラム、ADHD、LD	講義	発達障害の知識と対応を覚える
73	○知的・精神障害まとめ 知的・精神障害に関する小テスト	演習	小テスト実施
74	○難病① 神経疾患の知識と対応(Ⅲ/P249-258) Keyword:ALS、パーキンソン病	講義	ALS、パーキンソン病の知識と対応を覚える
75	○小テスト返却・解説 解説後、グループ学習	演習	
76	○難病② 運動器疾患の知識と対応①(Ⅲ/P277-283) Keyword:悪性関節リウマチ	講義	悪性関節リウマチの知識と対応を覚える
77	○難病③ 運動器疾患の知識と対応②(Ⅲ/P293-302) Keyword:筋ジストロフィー	講義	筋ジストロフィーの知識と対応を覚える
78	○災害時における生活支援 被災地での活動とそのあり方(Ⅰ/P276-299) Keyword:DMAT、避難所、防災備蓄	講義	被災地での活動とそのあり方を覚える
79	○応急手当 想定される事故とその応急手当(Ⅰ/P262-272) Keyword:外傷、骨折、窒息、火傷	講義	介護場面で想定される事故とその対応を覚える
80	○終末期の介護 終末期の知識と対応(Ⅱ/P250-283)	講義	終末期の知識と対応を覚える

	Keyword:リビングウィル、死の受容過程		
81	○実技事例演習①	実技	事例内容と介護の知識・技術を結びつける
82	対麻痺に関する事例について、グループごとに実技を行う		
83	○後期知識まとめ 後期実施した小テストの見直し	演習	小テストの見直し
84	○実技事例演習①	実技	事例内容と介護の知識・技術を結びつける
85	対麻痺に関する事例について、グループごとに実技を行う		
86	○実技事例演習②	実技	事例内容と介護の知識・技術を結びつける
87	四肢麻痺に関する事例について、グループごとに実技を行う		
88	○後期筆記試験	試験	
89	○後期実技試験	試験	
90			

使用テキスト	最新介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(中央法規) 介護福祉士国試ナビ(中央法規)
参考書・資料 等	目で見てわかる最新介護術(成美堂出版)
この授業科目の前提となる主な科目	生活支援技術1、こころとからだのしくみ 障害の理解、認知症の理解
この授業科目から発展する主な科目	介護実習Ⅰ-2 介護実習Ⅱ
成績評価の方法	定期試験(50点)出席(20点)、小テスト(20点)、態度(10点)
その他 受講生への要望等	基本的な介護技術を習得するのはもちろんですが、それだけでなく、利用者体験を通じて介護される側の不自由さ、不快さも理解して、利用者にとって本来あるべきよりよい生活とは何かを常に考えていきましょう。

授業科目名	介護過程2		
実務経験講師	○	実務経験	介護福祉士
開講年度	R5 年度	学 期	通年
年 次	2 年	授業回数	60 コマ
単 位 数	8 単位	単位時間数	120 時間
授業科目の概要	1 年次で習得した「介護過程 1」をベースに、「介護過程 2」では、利用者の自立した生活を実現するために、より実践的な介護過程の展開方法を学びます。利用者の生活の背景や生活の課題は人それぞれです。それらの個性を活かした支援をおこなうために、ほかの科目で学んだ知識や技術を、実際の利用者支援に向けて具体的にどのようにしていくのかを考えていきます。		
授業科目の到達目標	①情報収集の方法を学び、実際に利用者の情報収集をおこなうことができる。 ②収集した情報をもとに、利用者の生活の課題を明らかにすることができる。 ③生活の課題を明らかにしたうえで、利用者の個別支援計画を作成することができる。 ④計画に基づいた支援を実際におこなうことができる。 ⑤利用者への支援を振り返り、評価をおこなうことができる。 ⑥介護過程全体を通して利用者の個性と個別ケアの重要性を理解することができる。		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○1 年次知識の復習① 1 年後期筆記試験改題の解答 Keyword:アセスメント、計画、実施、評価	講義	1 年後期筆記試験改題を解く
2	○1 年次知識の復習② 1 年後期筆記試験改題の解説	講義	解答の根拠を習得する
3	○介護保険サービス利用過程① 要介護認定のしくみ(独自プリント) Keyword:要介護者、要介護度	講義	要介護認定の流れを理解する
4	○介護保険サービス利用過程② 認定後のサービス利用過程(独自プリント) Keyword:予防給付、介護給付	講義	サービスを利用するまでの手続きを理解する
5	○利用者アセスメント① 利用者情報収集(事例、情報シート) Keyword:情報収集	演習	利用者情報を、情報シートにまとめる
6	○利用者アセスメント② 利用者情報収集(事例、情報シート) Keyword:生活の課題	演習	利用者情報を、情報シートにまとめる
7	○レクリエーション準備① レクリエーションの意義・目的	講義	レクリエーションの意義・目的を理解する

8	○レクリエーション準備② レク企画書の書き方・作成(レク企画書)	演習	レク企画書を作成する
9	○レクリエーション準備③ レク企画書作成(レク企画書)	演習	レク企画書を作成する
10	○レクリエーション準備④ レク備品の確認、準備(レク企画書)	演習	レク企画書に沿ってレク準備をおこなう
11 12	○レクリエーション実践 レクリエーション進行	演習	レクの進行をおこなう
13	○レクリエーション報告 レクリエーション報告書作成 Keyword:レクリエーション報告書作成	演習	レク報告書を作成する
14	○前期実習報告 介護過程に関する前期実習報告	演習	レク実施に関する実習報告をおこなう
15	○介護過程知識の振り返り① 実践をととしたアセスメント知識の確認と情報の整理(P25-33) Keyword:主観的情報、客観的情報	講義	情報収集の方法を再認識する
16	○介護計画立案の方法① 生活課題の明確化(P50-55) Keyword:情報の解釈・関連づけ、統合化	講義	生活の課題のを見つけ方を理解する
17	○介護計画立案の方法② 介護目標の設定(P59-67) Keyword:短期目標・長期目標	講義	目標設定の方法を理解する
18	○介護計画立案の方法③ 支援内容、期間の設定(P59-67) Keyword:短期目標達成に向けた支援	講義	支援内容や期間の設定方法を理解する
19	介護計画作成① 情報の整理・解釈 (共通事例プリント・情報シート)	演習	事例を情報シートにまとめる
20	介護計画作成② 生活の課題、短期目標・長期目標の設定 (共通事例プリント・個別援助計画書)	演習	生活の課題を明らかにし、目標設定をおこなう
21	介護計画作成③ 支援内容、期間の設定 (共通事例プリント・個別援助計画書)	演習	支援内容、期間を設定する
22	介護計画作成④ 介護計画の発表 (共通事例プリント・個別援助計画書)	演習	作成した計画内容を発表する

23	○前期実習事例個別援助計画書① 情報シートの見直し ※個人ワーク	演習	前期実習事例利用者の 全体像を思い出す
24	○前期実習事例個別援助計画書② 生活の課題設定 ※個人ワーク	演習	前期実習事例利用者の 生活の課題を見つける
25	○前期実習事例個別援助計画書③ 長期目標・短期目標の設定 ※個人ワーク	演習	生活の課題を解決する ための長期目標、短期目標 を考える
26	○前期実習事例個別援助計画書④ 支援内容、期間の設定 ※個人ワーク	演習	短期目標を達成するため の支援内容を考える
27	○前期実習事例個別援助計画書⑤ 個別援助計画書の発表	演習	短期目標を達成させるた めの支援内容を考える
28	○介護過程知識の振り返り② アセスメント、目標設定の知識の確認(P36-67) Keyword:生活の課題、短期目標、長期目標	演習	作成した個別援助計画書 の内容を発表する
29	○前期授業まとめ 介護過程の知識に関する小テスト	演習	小テスト実施
30	○前期定期試験	試験	
31	○前期知識の復習 前期定期試験の返却・見直し	講義 演習	正答を調べる
32	○ケースカンファレンス① 事例A事例検討、計画内容の修正 ※グループワーク	演習	事例を選び、生活の課題と 計画内容を検討する
33	○ケースカンファレンス② 事例B事例検討、計画内容の修正 ※グループワーク	演習	事例を選び、生活の課題と 計画内容を検討する
34	○ケースカンファレンス③ 事例C事例検討、計画内容の修正 ※グループワーク	演習	事例を選び、生活の課題と 計画内容を検討する
35	○ケースカンファレンス④ 事例D事例検討、計画内容の修正 ※グループワーク	演習	事例を選び、生活の課題と 計画内容を検討する
36	発表資料作成① 事例まとめ、発表原稿作成 ※個人ワーク	演習	発表用の資料を作成する

37	発表資料作成② 事例まとめ、発表原稿作成 ※個人ワーク	演習	発表用の資料を作成する
38	○事例発表① 前期実習事例の個別援助計画書発表、質疑応答 ※個人発表	演習	事例発表をおこなう
39	○事例発表② 前期実習事例の個別援助計画書発表、質疑応答 ※個人発表	演習	事例発表をおこなう
40	○計画作成後の実施方法 介護過程実施の手順 Keyword:説明・同意、計画に基づいた支援	講義	介護過程実施手順を覚える
41	○後期実習事例情報の整理	演習	情報シート、計画書の見直しをおこなう
42	○実施後の介護過程の展開① 評価の手順 Keyword:評価時期、短期目標達成度、利用者の満足度	講義	実施後の評価の手順を覚える
43	○実施後の介護過程の展開② 支援経過記録の作成 ※個人ワーク	演習	介護過程の実施状況を時系列でまとめ
44	○実施後の介護過程の展開③ 評価表作成 ※個人ワーク	演習	評価表を作成する
45	○実施後の介護過程の展開④ 後期実習事例再アセスメント ※個人ワーク	演習	評価を基に、利用者の再アセスメントをおこなう
46	○実施後の介護過程の展開⑤ 後期実習事例再計画書作成 ※個人ワーク	演習	再アセスメントを基に、個別援助計画書を作成する
47	○実施後の介護過程の展開⑥ 後期実習事例Aケースカンファレンス ※グループワーク	演習	グループで1人事例を選び、生活の課題と計画内容を検討する
48	○実施後の介護過程の展開⑦ 後期実習事例Bケースカンファレンス ※グループワーク	演習	グループで1人事例を選び、生活の課題と計画内容を検討する
49	○実施後の介護過程の展開⑧ 後期実習事例Cケースカンファレンス ※グループワーク	演習	グループで1人事例を選び、生活の課題と計画内容を検討する

50	○実施後の介護過程の展開⑨ 後期実習事例Dケースカンファレンス ※グループワーク	演習	グループで1人事例を選び、生活の課題と計画内容を検討する
51	○発表資料作成① 事例まとめ、発表原稿作成 ※個人ワーク	演習	発表用の資料を作成する
52	○発表資料作成② 事例まとめ、発表原稿作成 ※個人ワーク	演習	発表用の資料を作成する
53	○事例発表① 後期実習事例の個別援助計画書発表、質疑応答 ※個人発表	演習	事例発表をおこなう
54	○事例発表② 後期実習事例の個別援助計画書発表、質疑応答 ※個人発表	演習	事例発表をおこなう
55	○介護過程まとめ① 介護過程意義目的に関する知識の整理	演習	国家試験過去問を解く
56	○介護過程まとめ② 介護過程アセスメントに関する知識の整理	演習	国家試験過去問を解く
57	○介護過程まとめ③ 介護過程計画立案に関する知識の整理	演習	国家試験過去問を解く
58	○介護過程まとめ④ 介護過程実施・評価に関する知識の整理	演習	国家試験過去問を解く
59	○後期授業まとめ 介護過程の知識に関する小テスト実施	演習	小テスト実施
60	○後期定期試験	試験	

使用テキスト	最新介護福祉士養成講座 介護過程(中央法規)
参考書・資料 等	ケアマネジメントの職人(竹内孝仁・年友企画)
この授業科目の前提となる主な科目	介護の基本1、コミュニケーション技術、生活支援技術1、介護過程1
この授業科目から発展する主な科目	介護実習Ⅰ・Ⅱ
成績評価の方法	出席(20)、態度・提出物(10)、小テスト(20)、筆記試験(50)
その他 受講生への要望等	介護福祉士は、支援者としての専門性をもって支援することが求められます。そのために、介護福祉士は、利用者の意思を大切にするとともに、利用者の自立した生活を考えながら支援することが大切です。積極的に参加して、知識と技術を習得して下さい。

授業科目名	介護総合演習2		
実務経験講師	○	実務経験	介護福祉士
開講年度	R5 年度	学 期	通年
年 次	2 年	授業回数	30コマ
単 位 数	4 単位	単位時間数	60時間
授業科目の概要	実習Ⅰで学んだこと及び課題(問題点)を軸に、自己成長のために必要な知識を身につけていきます。また、利用者の生活支援に必要な技術の選択を行えるよう、専門職、各仕事内容についても理解を深めていきます。		
授業科目の到達目標	① 利用者の個別ニーズに合わせた技術の選択を行う。 ② 実習Ⅱの内容や目的を理解し、現場における介護福祉士の役割を学ぶ。 ③ 明確な目標を持った上で、実習に向けての準備を行う。 ④ 実習生と職員の関わり方の違いを理解し、次のステップに繋げる。		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○ 2 年前期実習の内容・課題 実習期間全体の流れ Keyword:実習課題	講義	
2	○ 実習ファイル作成 各様式の説明・書き方 Keyword:計画書・概要・日誌	演習	実習ファイルの作成
3	○ 実習種別の説明 種別の概要、人員配置、職種別役割 Keyword:介護老人福祉施設、介護老人保健施設	講義	実習先一覧の配布
4	○ オリエンテーション依頼 オリエンテーション依頼の電話をかける	演習	
5	○ 実習計画書 実習計画書の作成 Keyword:目的と方法	演習	
6	○ 実習施設の概要 実習施設の概要作成 Keyword:環境・人員・利用者	演習	
7	○ 実習日誌 実習日誌の記録方法 Keyword:実習内容・考察	演習	
8	○ 1 日の目標と振り返り 1 日の目標の立て方 Keyword:目標、振り返り	演習	



9	○ 実習に関する諸注意	講義	
10	○ 実習のまとめ・礼状 実習のまとめ・礼状作成 Keyword:	演習	
11	○ 実習記録の最終提出 各自、実習施設へファイル等の提出	演習	
12 13	○ 実習報告書作成	演習	
14 15	○ 実習報告会	演習	
16	○ 2年後期実習の内容・課題 実習期間全体の流れ Keyword:実習課題	講義	
17	○ オリエンテーション依頼 オリエンテーション依頼の電話をかける	演習	
18	○ 実習ファイル作成 各様式の説明・書き方 Keyword:計画書・概要・日誌	演習	実習ファイルの作成
19	○ 実習計画書 実習計画書の作成 Keyword:目的と方法	演習	
20	○ 実習施設の概要 実習施設の概要作成 Keyword:環境・人員・利用者	演習	
21	○ 実習日誌 実習日誌の記録方法 Keyword:実習内容・考察	演習	
22	○ 1日の目標と振り返り 1日の目標の立て方 Keyword:目標、振り返り	演習	
23	○ 個別援助計画書 個別援助計画書の立て方	演習	
24	○ 個別援助計画実施留意事項	講義	
25	○ 実習のまとめ・礼状 実習のまとめ・礼状作成 Keyword:	演習	
26	○ 実習記録の最終提出 各自、実習施設へファイル等の提出	演習	

27	○ 実習報告書作成	演習	
28			
29	○ 実習報告会	演習	
30			

使用テキスト	独自プリントのみ
参考書・資料 等	介護総合演習・介護実習(中央法規) 介護福祉スタッフのためのケア・コミュニケーション(ウイネット) 福祉・介護実習ワークブック(株・みらい)
この授業科目の前提となる主な科目	人間関係とコミュニケーション 人間の尊厳と自立
この授業科目から発展する主な科目	介護実習 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ 総合演習Ⅱ
成績評価の方法	定期試験、小テスト 課題の提出 演習への参加状況
その他 受講生への要望等	自分で行く実習施設に関心を持ち、正しく理解できるように、疑問があれば質問にきて下さい。 実施した事や、演習・実習の中での気づきや学びは、しっかり記録に残し、自己の振り返りに役立てて下さい。

授業科目名	介護実習 I - 2		
実務経験講師	○	実務経験	介護福祉士
開講年度	R5 年度	学 期	前期
年 次	2 年次	授業回数	19 日間
単 位 数	5 単位	単位時間数	152 時間
授業科目の概要	介護実習 I - 2では、1 年次で体験したコミュニケーションや介護を、より実践的におこなっていきます。また、介護過程の入門編として、利用者の情報収集および、その情報を基にして、レクリエーションの計画・実施をおこないます。		
授業科目の到達目標	①介護事業所の概要や特徴を理解することができる。 ②基本を踏まえ、根拠に基づいた介護を職員とともに、実践することができる。 ③観察・コミュニケーション・記録類を通して、介護に必要な情報を収集できる。 ④利用者の観察記録をもとに、レクリエーションを計画・実施することができる。 ⑤1 日のできごとを日誌にまとめることができる。		

### 授業スケジュールと内容

	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○介護実習 施設見学 利用者とのかかわり、介護実践	実習	実習施設の概要 実習日誌
2	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践	実習	実習施設の概要 実習日誌
3	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践	実習	実習日誌 この日までに実習施設の概要を まとめておく
4	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践	実習	実習日誌
5	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 巡回指導	実習	実習日誌 巡回までに情報収集する利用者 を決める
6	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集	実習	実習日誌 利用者情報シート
7	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集	実習	実習日誌 利用者情報シート
8	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集	実習	実習日誌 利用者情報シート
9	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集	実習	実習日誌 利用者情報シート

10	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集 巡回指導	実習	実習日誌 巡回までに、情報シートを概ね 記入する
11	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、レク計画	実習	実習日誌 レク計画書
12	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、レク計画	実習	実習日誌 レク計画書
13	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、レク計画	実習	実習日誌 レク計画書
14	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、レク計画	実習	実習日誌 レク計画書
15	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、レク計画 巡回指導	実習	実習日誌 巡回までに、レク計画書を 作成する
16	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいた介レク実施(任意の日)	実習	実習日誌 レク実施、実施後の報告書作成
17	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいたレク実施(任意の日)	実習	実習日誌 レク実施、実施後の報告書作成
18	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 巡回指導、計画に基づいたレク実施(任意の日)	実習	実習日誌 レク実施、実施後の報告書作成
19	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 反省会	実習	実習日誌 レク実施、実施後の報告書作成

使用テキスト	なし
参考書・資料 等	実習の手引き 実習ファイル
この授業科目の前提と なる主な科目	人間の尊厳と自立、人間関係とコミュニケーション、社会の理解、介護の基本1 生活支援技術1、コミュニケーション技術、介護総合演習、介護過程1、介護過程2 発達と老化の理解、認知症の理解、障害の理解、こころとからだのしくみ 介護実習Ⅰ－見学、介護実習Ⅰ－1
この授業科目から発展 する主な科目	介護実習Ⅱ
成績評価の方法	出席、態度、日誌・課題の提出

その他 受講生への要望等	1年次の実習では、利用者とのかかわりを中心に学習してきましたが、2年生の実習では、より実践的な内容になってきます。日々の学校での学習をしっかり復習して実習に臨みましょう。
-----------------	---

授業科目名	介護実習Ⅱ		
実務経験講師	○	実務経験	介護福祉士
開講年度	R5年度	学 期	後期
年 次	2年次	授業回数	23日間
単 位 数	6単位	単位時間数	184時間
授業科目の概要	介護実習Ⅱでは、2年間の学習の集大成として、利用者のアセスメント、介護計画作成、計画に基づいた介護の実施といった、介護過程の展開を本格的におこないます。その介護過程の展開を通じて、自立支援とは何か、個別支援とは何かなど、考えていきます。		
授業科目の到達目標	①介護事業所の概要や特徴を理解することができる。 ②基本を踏まえ、根拠に基づいた介護を職員指導のもと、実践することができる。 ③観察・コミュニケーション・記録類を通して、介護に必要な情報を収集できる。 ④利用者の観察記録をもとに、利用者の生活課題を明確にすることができる。 ⑤利用者の個別援助計画書を作成し、それに基づいた支援を行うことができる。 ⑥1日のできごとを日誌にまとめることができる。		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○介護実習 施設見学 利用者とのかかわり、介護実践	実習	実習施設の概要 実習日誌
2	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践	実習	実習施設の概要 実習日誌
3	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践	実習	実習日誌 この日までに実習施設の概要を まとめておく
4	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践	実習	実習日誌
5	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 巡回指導	実習	実習日誌 巡回までに情報収集する利用者 を決める
6	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集	実習	実習日誌 利用者情報シート
7	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集	実習	実習日誌 利用者情報シート
8	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集	実習	実習日誌 利用者情報シート

9	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集	実習	実習日誌 利用者情報シート
10	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、情報収集 巡回指導	実習	実習日誌 巡回までに、情報シートを概ね 記入する
11	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、介護計画	実習	実習日誌 介護計画書
12	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、介護計画	実習	実習日誌 介護計画書
13	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、介護計画	実習	実習日誌 介護計画書
14	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、介護計画	実習	実習日誌 介護計画書
15	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践、介護計画 巡回指導	実習	実習日誌 巡回までに、介護計画書を作成 する
16	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいた介護支援実施(任意の日)	実習	実習日誌 計画に基づいた介護支援実施
17	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいた介護支援実施(任意の日)	実習	実習日誌 計画に基づいた介護支援実施
18	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいた介護支援実施(任意の日)	実習	実習日誌 計画に基づいた介護支援実施
19	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいた介護支援実施(任意の日)	実習	実習日誌 計画に基づいた介護支援実施
20	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいた介護支援実施(任意の日)、巡回指導	実習	実習日誌 計画に基づいた介護支援実施
21	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいた介護支援実施(任意の日)	実習	実習日誌 計画に基づいた介護支援実施
22	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 計画に基づいた介護支援実施(任意の日)	実習	実習日誌 計画に基づいた介護支援実施

23	○介護実習 利用者とのかかわり、介護実践 反省会	実習	実習日誌 計画に基づいた介護支援実施
----	--------------------------------	----	-----------------------

使用テキスト	なし
参考書・資料 等	実習の手引き 実習ファイル
この授業科目の前提となる主な科目	人間の尊厳と自立、人間関係とコミュニケーション、社会の理解、介護の基本1 生活支援技術1、コミュニケーション技術、介護総合演習、介護過程1、介護過程2 発達と老化の理解、認知症の理解、障害の理解、こころとからだのしくみ 介護実習 I - 見学、介護実習 I - 1、I - 2
この授業科目から発展する主な科目	
成績評価の方法	出席、態度、日誌・課題の提出
その他 受講生への要望等	2年間の最後の実習です。悔いのないように積極的に取り組みましょう。



授業科目名	医療的ケア 基本研修		
実務経験講師	○	実務経験	看護師
開講年度	R5 年度	学 期	前期
年 次	2 年次	授業回数	35 回
単 位 数	3 単位	単位時間数	50 時間
授業科目の概要	<p>人の平均寿命が伸びている反面、医療依存度が高い利用者が増加しています。その中で、喀痰吸引、経管栄養の医療的ケアが必要な人の、安全で安楽な生活を支えることが、介護福祉士に求められています。そのような観点から、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識を学びます。</p>		
授業科目の到達目標	<p>①介護福祉士が喀痰吸引や経管栄養の医行為の一部を業として行うことができるようになった背景を理解することができる。</p> <p>②医療的ケアを安全に実施するための基礎知識を理解することができる。</p> <p>③喀痰吸引に関する基礎的知識や留意点を理解することができる。</p> <p>④経管栄養に関する基礎的知識や留意点を理解することができる。</p> <p>⑤医療的ケアの準備から実施、報告・記録までの流れと留意点を理解することができる。</p> <p>⑥救急蘇生法の知識や留意点を理解することができる。</p>		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○医療的ケア① 医療的ケアとは、医行為について(P2-11) Keyword:医行為、業務独占、インフォームドコンセント	講義	
2	○医療的ケア② 喀痰吸引等制度(P11-21) Keyword:喀痰吸引、経管栄養、社会福祉士及び介護福祉士法	講義	前回授業の復習
3	○医療的ケア③ 医療的ケアと喀痰吸引等の背景(P21-27) Keyword:基本研修、実地研修	講義	前回授業の復習
4	○医療的ケア④ その他の制度(P28-35) Keyword:介護保険法、障害者総合支援法	講義	前回授業の復習
5	○医療的ケア⑤ 医療的ケア①～④まとめ Keyword:医行為、喀痰吸引制度、社会福祉士及び介護福祉士法	講義	①～④授業の復習
6	○安全な療養生活① 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施(P37-44) Keyword:リスクマネジメント、ヒヤリハット、アクシデント	講義	前回授業の復習

7	○安全な療養生活② 救急蘇生(P44-59) Keyword:応急手当、心肺蘇生、AED	講義	前回授業の復習
8	○清潔保持と感染予防① 感染予防の基本(P62-67) Keyword:スタンダード・プリコーション、うがい、手洗い	講義	前回授業の復習
9	○清潔保持と感染予防② 介護福祉職の感染予防(P68-71) Keyword:健康管理、使い捨て手袋・マスクの着用	講義	前回授業の復習
10	○清潔保持と感染予防③ 療養環境の清潔・消毒法、消毒と滅菌(P71-77) Keyword:汚染物、医療廃棄物、常在菌、MRSA	講義	前回授業の復習
11	○健康状態の把握① 身体・精神の健康、バイタルサイン(P79-86) Keyword:バイタルサイン、チアノーゼ	講義	前回授業の復習
12	○健康状態の把握② 急変状態(P87-89) Keyword:早期発見、応急手当、報告、連絡網	講義	前回授業の復習
13	○授業まとめ① 医療的ケア、清潔保持と感染予防、健康状態の把握 小テスト	小テスト	医療的ケア実施の基礎 筆記小テスト
14	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論① 呼吸のしくみ、いつもと違う呼吸状態(P94-99) Keyword:肺、ガス交換、呼吸困難	講義	前回授業の復習
15	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論② 喀痰吸引とは、(P100-104) Keyword:肺、ガス交換、呼吸困難	講義	前回授業の復習
16	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論③ 人工呼吸器と吸引(P104-116) Keyword:人工呼吸器、気管カニューレ	講義	前回授業の復習
17	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論④ 子どもの吸引、利用者・家族の気持ち、説明、同意(P116-123) Keyword:体位ドレナージ、口蓋垂	講義	前回授業の復習
18	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論⑤ 呼吸器系の感染予防、安全確認(P123-132) Keyword:想定されるトラブル、ヒヤリハット	講義	前回授業の復習
19	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論⑥ 事故発生時の対応(P132-135)	講義	前回授業の復習

	Keyword:報告、事前対策、医師・看護職との連携		
20	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順① 喀痰吸引で用いる器具・器材、清潔保持(P138-141) Keyword:吸引器、消毒	講義	前回授業の復習
21	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順② 吸引の技術と留意点(P141-154) Keyword:必要物品、状態観察	講義	前回授業の復習
22	○高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順③ 喀痰吸引にともなうケア(P154-159) Keyword:体位、口腔ケア、報告、記録	講義	前回授業の復習
23	○授業まとめ② 喀痰吸引分野の小テスト 事前対策、医師・看護職との連携	小テスト	喀痰吸引基礎的知識・ 実施手順 筆記小テスト
24	○高齢者および障害児・者の経管栄養概論① 消化器系のしくみとはたらき(P164-170) Keyword:嚥下、口腔、胃、蠕動運動	講義	前回授業の復習
25	○高齢者および障害児・者の経管栄養概論② よくある消化器の症状・経管栄養とは(P170-175) Keyword:嘔吐、下痢、便秘、胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養	講義	前回授業の復習
26	○高齢者および障害児・者の経管栄養概論③ 注入する栄養剤に関する知識(P175-178) Keyword:栄養、水分摂取	講義	前回授業の復習
27	○高齢者および障害児・者の経管栄養概論④ 経管栄養で起こり得る異変(P178-181) Keyword:下痢、スキントラブル	講義	前回授業の復習
28	○高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑤ 子どもの経管栄養について(P181-183) Keyword:摂食・嚥下機能、子どもの皮膚	講義	前回授業の復習
29	○高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑥ 感染・予防、利用者・家族の気持ち、説明・同意(P184-188) Keyword:物品管理、口腔ケア、説明・同意	講義	前回授業の復習
30	○高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑦ 経管栄養により生じる危険・安全確認 急変・事故発生時の対応(P188-195) Keyword:想定されるトラブル、ヒヤリハット、事故対策	講義	前回授業の復習
31	○高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順① 器具・器材とそのしくみ、清潔の保持(P200-204) Keyword: イリゲーター、クレンメ、カテーテルチップシリンジ	講義	前回授業の復習

32	○高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順② 経管栄養の技術と留意点(P205-215) Keyword: 準備、状態観察、滴下調整	講義	前回授業の復習
33	○高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順③ 経管栄養に必要なケア(P215-219) Keyword: 口腔内・鼻・胃ろう部のケア、報告・記録	講義	前回授業の復習
34	○授業まとめ③ 経管栄養分野の小テスト	小テスト	経管栄養基礎的知識・ 実施手順 筆記小テスト
35	○定期試験	試験	全体の 70% 以上の得点取得で合格

使用テキスト	最新介護福祉士養成講座 医療的ケア 第2版(中央法規)
参考書・資料等	介護福祉士国試ナビ(中央法規) 看護技術がみえる2(メディックメディア) 独自プリント
この授業科目の前提となる主な科目	発達と老化の理解、障害の理解 こころとからだのしくみ
この授業科目から発展する主な科目	医療的ケア演習
成績評価の方法	定期試験、小テスト、出席状況、提出物、態度
その他 受講生への要望等	医療的ケアは、喀痰吸引や経管栄養が必要な利用者に直接的なケアを行います。確実に知識を得なければ、利用者に苦痛を与えてしまったり、生命を危険にさらすことになります。利用者が安全・安楽にケアを受けられるよう、基本的知識をしっかり身につけましょう。

授業科目名	医療的ケア 演習		
実務経験講師	○	実務経験	看護師
開講年度	R5 年度	学 期	後期
年 次	2 年次	授業回数	16 回
単 位 数	2 単位	単位時間数	32 時間
授業科目の概要	前期授業では、医療的ケア実施の基礎として医療的ケアとはどのようなものか、その概要や背景など、安全に実施するための知識を学びました。後期授業では、それらの知識を踏まえ、喀痰吸引、経管栄養の準備から実施、報告・記録までの流れとその留意点、および救急蘇生法の手順について学びます。		
授業科目の到達目標	①喀痰吸引(口腔内・鼻腔内・カニューレ)の実施を、シミュレーターを使い手順通りにおこない、5 回「ア」評価を得ることができる。 ②経管栄養(胃ろう、経鼻経管)の実施を、シミュレーターを使い手順通りにおこない、5 回「ア」評価を得ることができる。		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○喀痰吸引実施オリエンテーション DVD、教員デモ、指示書、手順書の確認(P224-246) Keyword:準備、実施、片づけ・物品管理、記録	演習	
2	○経管栄養実施オリエンテーション DVD、教員デモ、指示書、手順書の確認(P247-283) Keyword:準備、実施、片づけ・物品管理、記録	演習	
3	○医療的ケアの実施(2 グループに分かれる) A:喀痰吸引の準備から報告までの手順を覚える B:経管栄養の準備から報告までの手順を覚える	演習	
4	○医療的ケアの実施(2 グループに分かれる) A:喀痰吸引を実施し、評価を受ける B:経管栄養を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
5	○医療的ケアの実施(2 グループに分かれる) A:喀痰吸引を実施し、評価を受ける B:経管栄養を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
6	○医療的ケアの実施(2 グループに分かれる) A:喀痰吸引を実施し、評価を受ける B:経管栄養を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
7	○医療的ケアの実施(2 グループに分かれる) A:喀痰吸引を実施し、評価を受ける B:経管栄養を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること

8	○医療的ケアの実施(2グループに分かれる) A:喀痰吸引を実施し、評価を受ける B:経管栄養を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
9	○医療的ケアの実施(2グループに分かれる) A:経管栄養の準備から報告までの手順を覚える B:喀痰吸引の準備から報告までの手順を覚える	演習	
10	○医療的ケアの実施(2グループに分かれる) A:経管栄養を実施し、評価を受ける B:喀痰吸引を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
11	○医療的ケアの実施(2グループに分かれる) A:経管栄養を実施し、評価を受ける B:喀痰吸引を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
12	○医療的ケアの実施(2グループに分かれる) A:経管栄養を実施し、評価を受ける B:喀痰吸引を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
13	○医療的ケアの実施(2グループに分かれる) A:経管栄養を実施し、評価を受ける B:喀痰吸引を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
14	○医療的ケアの実施(2グループに分かれる) A:経管栄養を実施し、評価を受ける B:喀痰吸引を実施し、評価を受ける	演習	実技各項目 5 回目で全て A評価を受けること
15	○救急蘇生法 一次救命処置の手順を覚え、実施(P284-295) Keyword:安全確保、胸骨圧迫、AED	演習	シミュレーターを用いて、 心肺蘇生法、AED の使用 方法を各自 1 回は実施す ること
16	○救急蘇生法 一次救命処置の手順を覚え、実施(P284-295) Keyword:安全確保、胸骨圧迫、AED	演習	

使用テキスト	最新介護福祉士養成講座 医療的ケア 第2版(中央法規)
参考書・資料 等	介護福祉士国試ナビ(中央法規) 看護技術がみえる(メディックメディア)
この授業科目の前提となる主な科目	発達と老化の理解、障害の理解 こころとからだのしくみ
この授業科目から発展する主な科目	医療的ケア演習
成績評価の方法	実技試験(喀痰吸引、経管栄養各項目 5 回目の実技ですべてA評価を受けること) 出席、態度

その他  
受講生への要望等

医療的ケアは、喀痰吸引や経管栄養が必要な利用者に直接的な援助をおこないます。また、利用者の生命にもかかわっていきます。後期授業では、前期で学習した知識を踏まえ、喀痰吸引と経管栄養の手順を学びます。積極的態で臨み、技術の習得に努めましょう。

授業科目名	国家試験対策		
実務経験講師	○	実務経験	介護福祉士
開講年度	R5 年度	学 期	通年
年 次	2 年次	授業回数	30 回
単 位 数	4 単位	単位時間数	60 時間
授業科目の概要	平成29年度より、養成施設ルートにも、国家試験が課せられることになり、今年度はその6年目にあたります。この科目では、1 月におこなわれる国家試験に合格できるように、過去問や模擬問題を繰り返し解答し、得点力アップを目指します。		
授業科目の到達目標	①問題文の中にある言葉の意味を理解し、問題の意図を読み取ることができる。 ②問題を通して、介護福祉士としての基礎的知識を再確認することができる。 ③正答率 70%以上得点することができる。 ④国家試験に合格する		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	○国家試験オリエンテーション 養成ルート、資格取得までの手続き、試験科目 Keyword:実施・登録機関、合格率、合格要件 講義	講義	
2	○校内模試	試験	
3	第 35 回介護福祉士国家試験問題を解答		
4			
5	○校内模試午前問題解説① こころとからだ、発達老化の解答・解説	講義	
6	○校内模試午前問題解説② 認知症、障害、医療的ケアの解答・解説	講義	
7	○校内模試午前問題解説③午後問題解説① 尊厳自立、人間関係、社会理解、介護基本、コミュニケーションの解答・解説	講義	
8	○校内模試午後問題解説② 生活支援、介護過程、総合問題の解答・解説	講義	
9	○校外模試①	試験	
10	中央法規 第 1 回全国統一模擬試験受験		
11			
12	○全国統一模擬試験午前問題解説① こころとからだ、発達老化、認知症、障害、医療的ケアの 解答・解説	講義	



13	○全国統一模擬試験午前問題解説②午後問題解説 尊厳自立、人間関係、社会理解、介護基本、コミュニケーション、生活支援、介護過程、総合問題の解答・解説	講義	
14	○国家試験出願指導 願書記入、振込、出願の指導と実施	出願	
15	○前期定期試験 第 35 回介護福祉士国家試験の中から 50 問出題	試験	
16	○前期定期試験の解説 前期定期試験の解答・解説	講義	国家試験過去問を解き、選択肢ごとに正答・誤答を調べる
17	○校外模試②	講義	国家試験過去問を解き、選択肢ごとに正答・誤答を調べる
18	福祉カレッジ全国統一模擬試験応用編受験	演習	
19			
20	○福祉カレッジ応用擬試験午前問題解説① こころとからだ、発達老化、認知症、障害、医療的ケアの 解答・解説	講義	
21	○全国統一模擬試験午前問題解説②午後問題解説 尊厳自立、人間関係、社会理解、介護基本、コミュニケーション、生活支援、介護過程、総合問題の解答・解説	講義	
22	○福祉カレッジ応用擬試験午前問題解説① こころとからだ、発達老化、認知症、障害、医療的ケアの 解答・解説	講義 演習	模擬問題を解き、 選択肢ごとに正答・誤答を調べる
23	○福祉カレッジ応用擬試験午前問題解説① こころとからだ、発達老化、認知症、障害、医療的ケアの 解答・解説	講義 演習	模擬問題を解き、 選択肢ごとに正答・誤答を調べる
24	○校外模試③	試験	
25	中央法規 第 2 回全国統一模擬試験受験		
26			
27	○中央法規擬試験午前問題解説① こころとからだ、発達老化、認知症、障害、医療的ケアの 解答・解説	講義 演習	模擬問題を解き、 選択肢ごとに正答・誤答を調べる
28	○中央法規擬試験午前問題解説② こころとからだ、発達老化、認知症、障害、医療的ケアの 解答・解説	講義 演習	模擬問題を解き、 選択肢ごとに正答・誤答を調べる
29	○中央法規擬試験午後問題解説 こころとからだ、発達老化、認知症、障害、医療的ケアの 解答・解説	講義 演習	模擬問題を解き、 選択肢ごとに正答・誤答を調べる
30	○後期定期試験	試験	

使用テキスト	介護福祉士国試ナビ 2024(中央法規) クエスチョンバンク 2024(メディックメディア)
参考書・資料 等	介護福祉士模擬問題集(中央法規) 介護福祉士国家試験過去問題集(中央法規)
この授業科目の前提となる主な科目	すべての介護福祉士養成科目
この授業科目から発展する主な科目	すべての介護福祉士養成科目
成績評価の方法	定期試験(50点)、出席(20点)、小テスト(20点)、態度(10点)
その他 受講生への要望等	国家試験合格を目指し、授業時間だけでなく自主的に学習を進めましょう。特にわからなかった問題は自分自身で見直し、調べるなどして繰り返し学習しましょう。